

令和3年度 第2回富山市男女共同参画推進審議会 議事録

日 時 令和3年11月18日(木) 13:00～14:15

場 所 富山市役所議会棟8階 第3委員会室

出席者	会 長	大工原 ちなみ	富山大学人文学部 教授
	副会長	村 上 美也子	むらかみ小児科アレルギークリニック 院長
		國 香 真紀子	富山市小学校長会 副会長
		齊 藤 亮	富山市男女共同参画推進地域リーダー連絡協議会 会長
		藤 井 政 夫	富山市自治振興連絡協議会 副会長
		藤 井 光 行	連合富山・富山地域協議会 事務局長
		水 家 正 一	富山人権擁護委員協議会 事務局長
		綿 谷 雅 代	富山商工会議所女性会 会長
		山 口 覚 史	富山労働局雇用環境・均等室 室長
		山 本 正 恵	富山県女性相談センター 所長
		阿波加 克 実	公募委員
		伊 藤 里 美	公募委員
		中 村 宗 充	公募委員

(欠席者)	東 博 幸	弁護士
	加 藤 勝 利	富山地方法務局人権擁護課 課長

(オブザーバー)	寺 田 夕 美	富山地方法務局人権擁護課 係長
----------	---------	-----------------

事務局	市 民 生 活 部	岡地部長、越野次長
	男女参画・市民協働課	高田課長、北口課長代理、薄島副主幹、高畠主査
	男女共同参画推進センター	鳥取所長

関係課	こども支援課	沢井課長、こども保育課 竹内課長、こども福祉課 本郷課長、
	こども健康課	酒井課長、商業労政課 高橋課長、防災対策課 村田課長、
	市民生活相談課	今村副主幹

プラン策定業務委託業者 株式会社計画情報研究所 富山支店

内 容：

1. 開会（司会進行：北口課長代理）
2. 部長あいさつ（岡地市民生活部長）
3. 委員欠席者報告
4. 会長あいさつ（大工原会長）

5. 議事

(1) 「第2次富山市男女共同参画プラン後期実施計画」について

資料に基づき、内容説明（高田課長）

資 料：審議会委員からの意見への回答・対応状況について

第2次富山市男女共同参画プラン後期実施計画 体系図（案）

第2次富山市男女共同参画プラン後期実施計画 成果指標（案）

第2次富山市男女共同参画プラン（後期実施計画）素案

■質問・意見

会長	基本目標4「男女間のあらゆる暴力ゼロの環境づくり」については表現の変更はできないと思うが、取り組む主要テーマ（1）「男女間のあらゆる暴力根絶のための意識づくり」の中の“男女間の”という語句を削除することは可能か。 計画全体において性的マイノリティの方への配慮をいただいている。この部分についても、性的マイノリティの方々の間でもDVの率が高いことを視野に入れる姿勢を見せるために、“男女間の”という表現について検討いただければ。
事務局	そのような暴力への対応も非常に重要だと認識している。ただし、単純に“男女間の”という表現を削除すると“あらゆる暴力ゼロ”という意味になり、DV防止法に定める「親密な関係にある」という意味合いが薄れてしまう恐れがある。表現について検討させていただきたい。
副会長	“パートナー”という表現もある。“男女間の”という表現には気を付ける必要がある。
会長	副会長からのご意見も含めて検討させていただきたい。
委員	成果指標（案）の目標値について、「DV被害にあった際、どこ（だれ）にも相談しなかった人の割合」「DV被害にあった際、どこに相談したらよいのかわからなかった人の割合」の目標値を変更した理由と根拠はなにか。
事務局	前期実施計画における成果指標の数値について、基準値と現状値を比較すると目標値を達成するどころか悪化してしまっている。この悪化した数値を改善するため、後期実施計画における目標値を見直した。
会長	目標値が全体的に頑張りすぎであり、実際に達成可能な数値に見直した方がよいと私から意見したため、落としどころとして設定されたのではないかと思う。
委員	児童・生徒への虐待や立場・力の弱い女性へのDV等、これまで意識下に潜在的にあったものが、コロナ禍をきっかけに顕在化してきた。この状況下において、誰にも相談できない、どこに相談したらよいのかわからないといった方を放置することなく、「コロナ禍だから仕方がない」という認識に繋がらないよう、「相談しなければならない」「相談すべき」という認識を持ってもらうことが必要だと思う。 コロナ禍の前と後で目標値に大差がないように見受けられるので、もう少し数値を検討してほしい。

会長	高岡市でも同じような仕事（審議会委員）をしているが、高岡市の値はさらに悪い。DV相談の認知度向上のため、あらゆる手を尽くしても認知度が上がらず、悩んでおられる。DV相談の認知度はもっと向上すべきだが、良い手段がなかなかなく、切実な問題と感じている。
委員	成果目標（案）の中に「自治会長に就任する女性の割合」とある。私も地域の活動に携わっているが、地域の現状としては、人材の登用はなかなか厳しい部分があると感じる。 人口が減少し、地域の状況も変化する中で、女性の地域活動への参画は重要であり、幅広い意見を聴くことができることは理解している。一方で、活動の中には、夜の遅い時間帯である等なかなか女性が参加しにくいものもある。 現状として、役割を担う、特に自治会長となると荷が重いと考えの方もいるのではないかと。
事務局	地域の事情については重々承知しているが、現在の「自治会長に就任する女性の割合」は4.1%であり、まだ低いのではないかと認識している。地域の事情に配慮しながらも、地域活動に女性の意見を取り入れるという要素も大切であることから、もう少し割合を引き上げていきたいということで、今回、この目標を設定したものであり、ご理解をいただきたい。
委員	ジェンダーギャップ指数について、日本が世界で120位と低いと、どの項目が悪いのかを知りたい。
会長	ジェンダーギャップ指数には「政治」「経済」「教育」「健康」の4つの分野がある。日本は「教育」「健康」は良いが、「政治」「経済」の悪さが主要原因と考えられる。 「政治」分野では、特に国会議員や閣僚における女性の割合が悪い。例えば、アメリカ合衆国は、バイデン大統領が就任してから女性閣僚が増え、順位が上がっている。 「経済」分野では、部長や課長といった上位職における女性の登用や男女間の給料の格差などがOECD加盟国に比べてかなり低くなっている。
事務局	国が公表している資料について、後ほど共有させていただく。
委員	素案3ページの「本プランとSDGs」について、大元にあるSDGsの考え方と男女共同参画において合致する点や切り口等、どのように整合を図っているのか。また、具体的にどのように進められるようになっているのか。
事務局	本市の「SDGs 未来都市計画」における具体的な事業の中には、ジェンダー平等の実現についてのダイレクトな記載はないが、そもそものSDGsの基本的な考え方に、全てのゴールに共通するものとして、ジェンダー平等の観点があるとの記載があったと記憶している。 従って、全ての事業を行う際に、ジェンダー平等に対する視点を持って実施していくことが必要であるとして、理念としての位置づけにあると考えており、ご理解いただきたい。
会長	SDGsの基本理念として、「誰も取り残されない」ことが一番にある。男性も女性も性的マイノリティの方も全て関わってくる。男女共同参画という概念は本当に幅が広い。SDGsもそうであり、今回の計画でも様々なところで関係してきている。

事務局	追加での説明となるが、具体的に事業に関わっている例について、取り組む主要テーマ3（2）「地域ぐるみの支え合いによる男女共同参画の推進」の①「地域で活躍するリーダーの育成」、②「地域活動に参画しやすい環境づくり」における事業として、「地域等におけるSDGsの推進」「官民連携によるSDGs推進」があり、SDGsの理念を持った方による地域や職場内での推進や、自治体と企業等とが連携した取組によるSDGsの推進を示している。 SDGsは大変広い概念のため、本来であれば第一章に盛り込むという考え方もあったが、あまりに広い概念であったため、特段触れていない。先ほど例で挙げた事業名が「SDGs推進」となっており、そちらに深く寄せてあるように見えるが、あくまで個別事業の説明としてこのような表記となっていることをご理解いただきたい。
会長	（県の）DVに関する現状についてお話しいただきたい。
委員	昨年始まったコロナ禍において、月ごとの変動が非常に大きい。大きな流れでみると、昨年度、富山県女性相談センターで扱った中では、DVに関する相談件数が前年度より延べ件数で約15%増加した。現在の状況としては、波はありつつも、今年度の前半は昨年度と比べて横ばいであり、コロナ禍以前と比べると高めの水準が続いている傾向にある。国の集計においても増加傾向にあるようである。 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、家庭の中で過ごす時間が増えることで、新たにDVが生じたり、悪化したりするのではと言われているが、相談の現場では、明らかにそういうことが起きているということを、察知することはあまりない。それよりも、経済状況の悪化や社会的不安が増大する中で、家庭全体のストレスが高くなることで、ギリギリのラインを保っていた関係性が悪化したりすることが原因ではないかと感じている。

※発言を一部整理してあります。

（2）今後のスケジュールについて

資料に基づき、内容説明（高田課長）

資 料：第2次富山市男女共同参画プラン後期実施計画策定スケジュール（案）